

事後評価 計画名称 5 安全安心で住みやすい社会の実現に向けた防災対策の推進

【事業主体】

熊本県、八代市、山都町、山江村、南小国町、甲佐町、人吉市、荒尾市、玉名市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、美里町、南関町、小国町、高森町、南阿蘇村、御船町、芦北町、津奈木町、錦町、多良木町、水上村、球磨村



計画の目標・計画期間

災害から県民の生命財産を守り、大規模災害発生時の被害を最小限にとどめるため、防災・震災対策を着実に実施し、県民が安全で安心できる避難体制の構築を進める。

[平成21年度～平成25年度（5箇年）]

H21	H22	H23	H24	H25
5 安全安心で住みやすい社会の実現に向けた防災対策の推進				

道路利用者

災害防除を“24箇所”整備し、道路利用者の安全・安心の通行確保

橋梁補修を“5橋”整備し、道路利用者の安全・安心の通行確保

トンネル補修を“15本”整備し、道路利用者の安全・安心の通行確保

要素事業の進捗状況

事業区分	区分	工種	計画	実施	完了		備考
					完了	継続	
A: 基幹事業	県	道路改築	5	5	1	4	現道拡幅
	市町村	道路修繕	129	65	26	39	災害防除、橋梁補修等
B: 関連社会資本整備事業	県	道路修繕	16	16	15	1	災害防除
	市町村	道路修繕	-	4	0	0	傾斜地崩壊対策事業
C: 効果促進事業	県	砂防事業	4	0	0	0	漂流保全工
	市町村	調査等	4	2	2	0	防災点検
			26	22	22	0	防災点検等

単位: 箇所

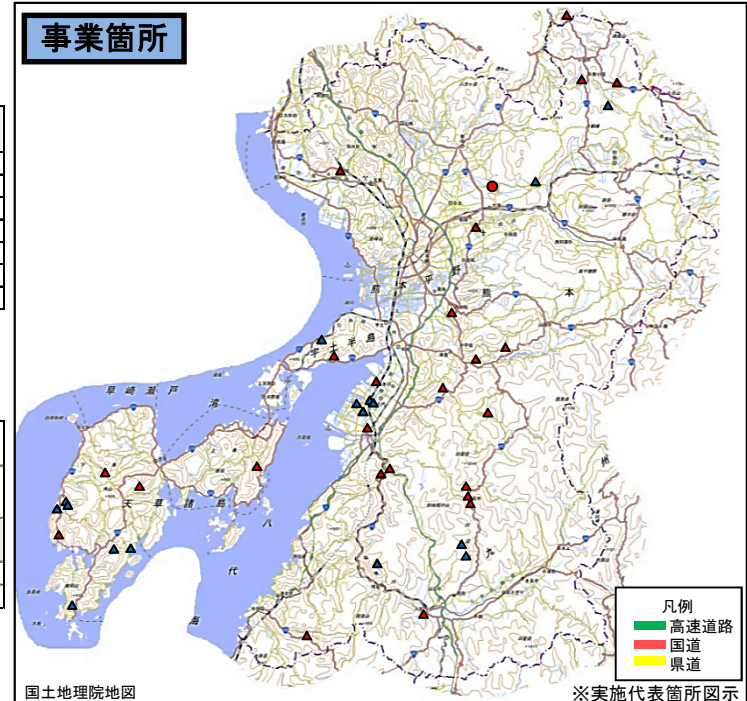
目標達成状況

計画の成果目標	県民が安全で安心できる避難できる道路の割合（あんぜん・あんしん通行確率）を24%（H21）から38%（H25）に改善。	
定義及び算定式	整備効果調査により、H8道路防災総点検結果に基づく要対策箇所に対する整備済み箇所数の割合を算出する。 $\text{あんぜん・あんしん通行確率}(\%) = \frac{\sum(\text{対策済箇所数})}{\sum(\text{全要対策箇所数})} \times 100$	
達成状況	H8道路防災総点検結果に基づく全要対策箇所数2,049箇所のうち、対策済箇所数は687箇所となったが、計画していた事業の進捗状況等により、県民が安全で安心できる避難できる道路割合改善の目標を達成できなかった。	
	当初現況値 (H21当初)	最終値 (H25末)
	目標値 24%	38%
	実績値 -	34%

今後の方針

橋梁補修やトンネル補修など、点検結果に基づき、適切な補修を実施するため、H26年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期完了に努める。

事業箇所



国土地理院地図

※実施代表箇所図示